

国道41号美濃加茂バイパス 全線開通から2年  
～美濃加茂市の地域活性化に寄与～

< パネル展 >



H24.9撮影

国土交通省 中部地方整備局  
岐阜国道事務所

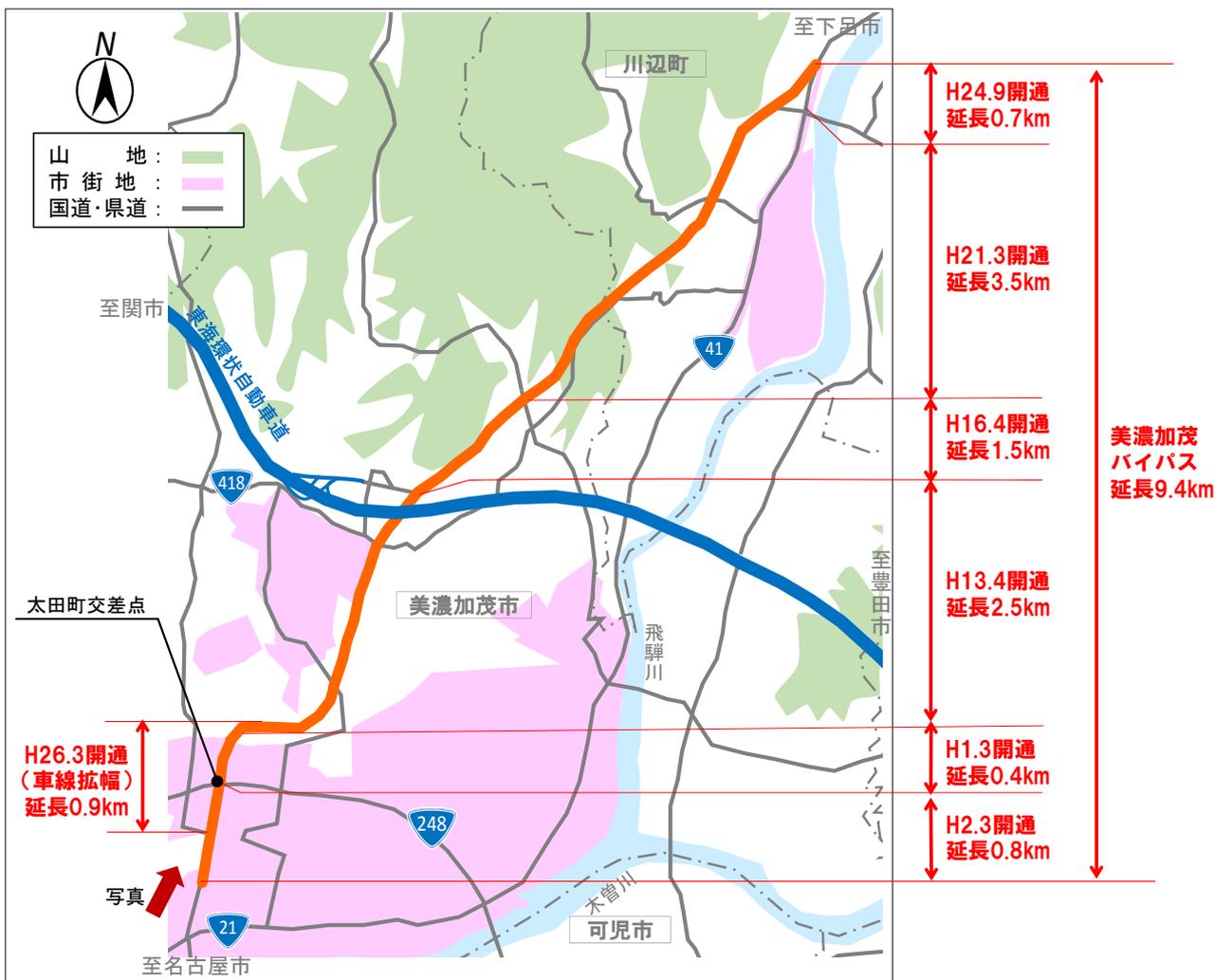
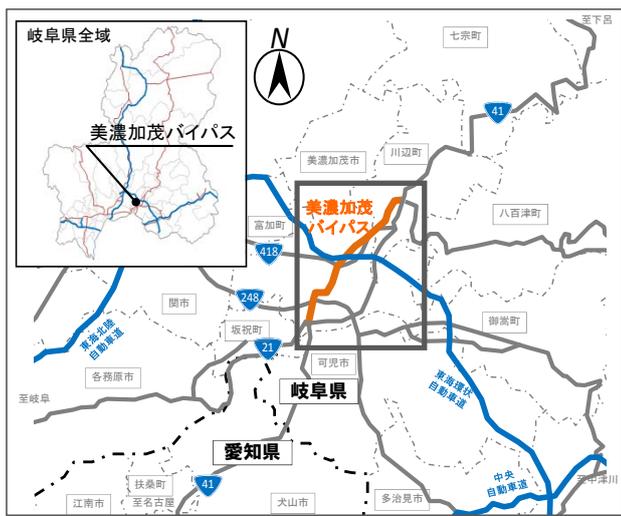
美濃加茂市

平成27年1月

# 国道41号美濃加茂バイパス ～ 事業概要 ～

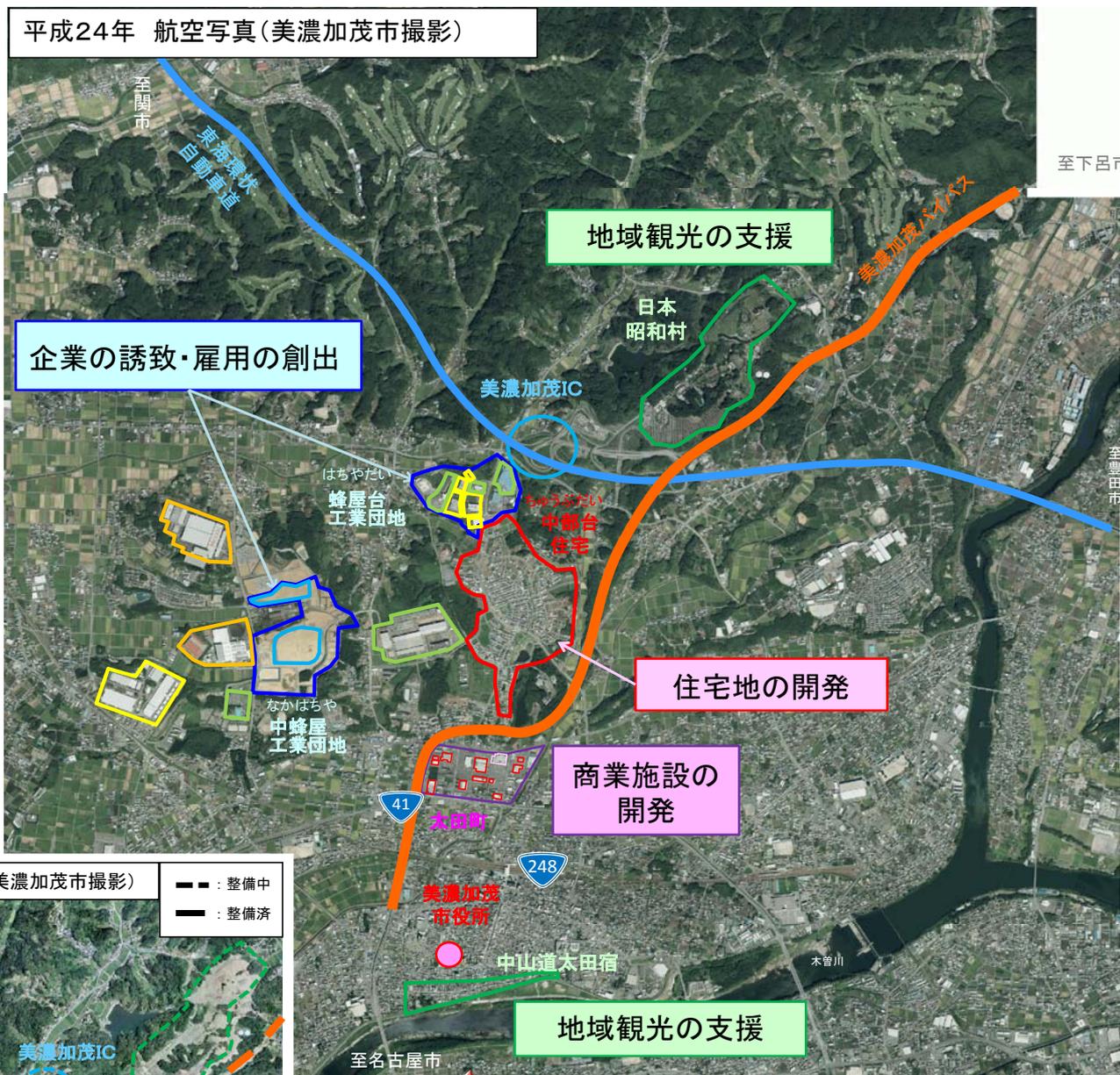
## ■ 美濃加茂バイパスの全線開通から2周年を迎えました！

- ・国道41号美濃加茂バイパスは、国道41号現道の交通渋滞の緩和を主な目的に、昭和49年度に事業化し、昭和58年に工事着手、平成元年より順次開通し平成24年9月に全線2車線で開通しました。
- ・また、美濃加茂バイパスの延伸に伴う交通量の増加により、交通渋滞が激しい太田町交差点周辺について平成26年3月に車線拡幅を実施しました。



## ■ 美濃加茂バイパス周辺で様々な効果が発現！

・美濃加茂市の魅力的な町づくりと美濃加茂バイパスの整備により、企業の誘致、雇用の創出、住宅地の開発、商業施設の開発、地域観光の支援等の効果が発現し、地域が活性化しています。



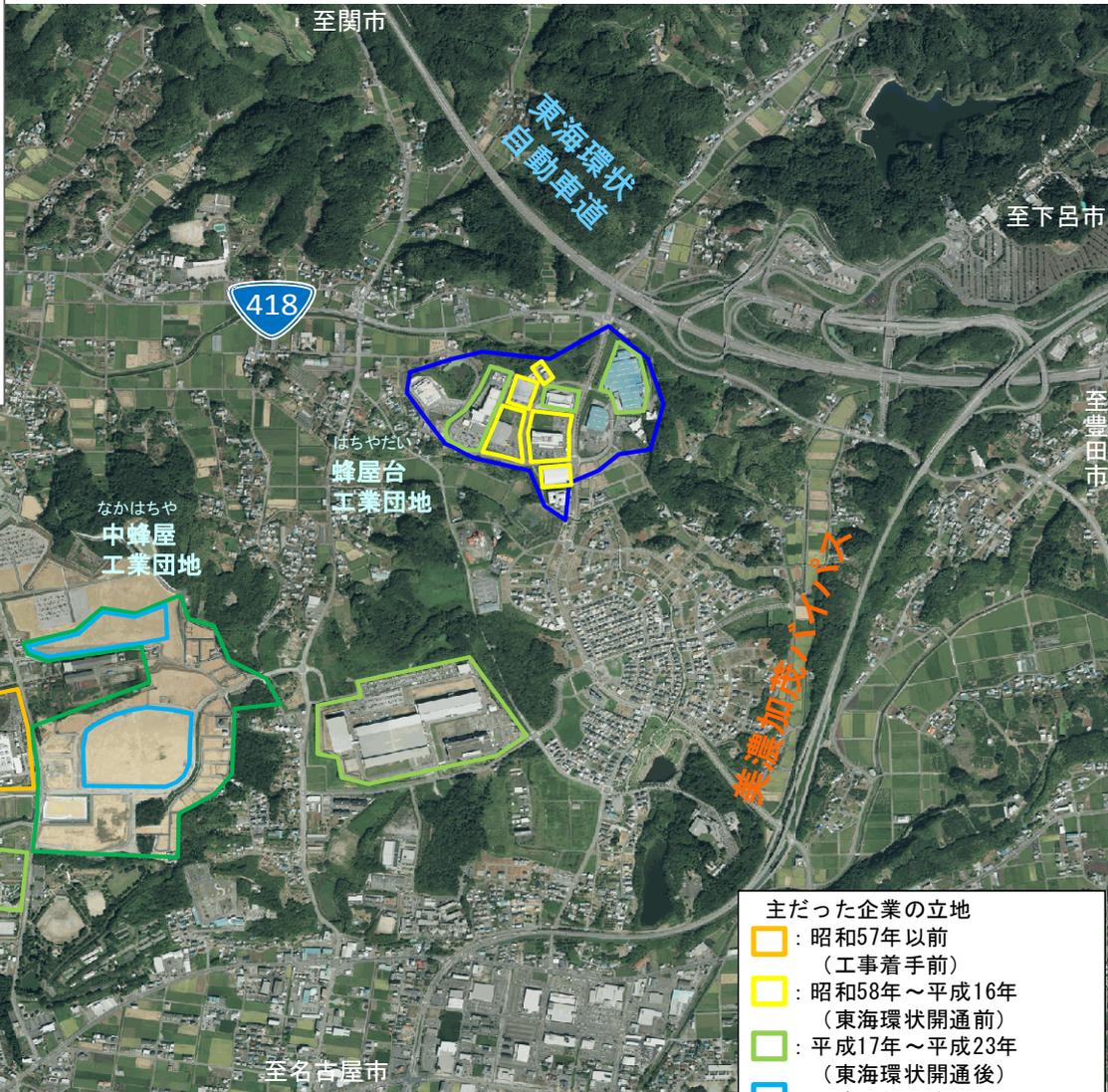
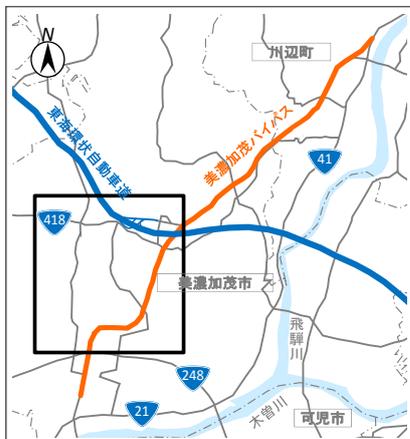
10年後

- 主だった企業の立地
- : 昭和57年以前 (工事着手前)
  - : 昭和58年～平成16年 (東海環状開通前)
  - : 平成17年～平成23年 (東海環状開通後)
  - : 平成24年以降 (美濃加茂BP全線開通後)

## ■工業団地の分譲率が短期間で100%に！

とうかいかんじょう

・美濃加茂バイパスと東海環状自動車道の道路ネットワークにより、工業団地が短期間ですべて完売し、多くの企業が立地しました。

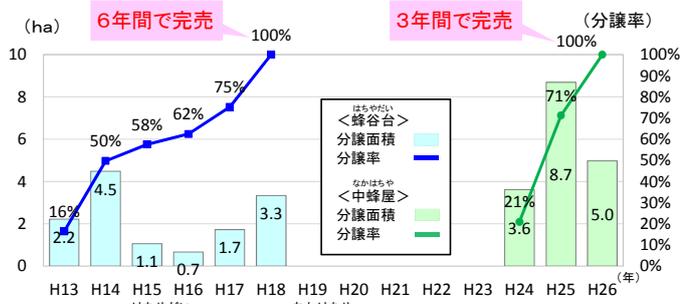


主だった企業の立地  
 □ : 昭和57年以前 (工事着手前)  
 □ : 昭和58年～平成16年 (東海環状開通前)  
 □ : 平成17年～平成23年 (東海環状開通後)  
 □ : 平成24年以降 (美濃加茂BP全線開通後)

平成24年

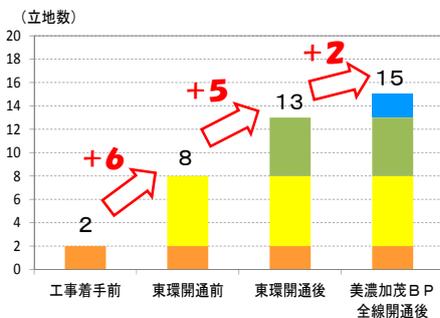
蜂屋台工業団地 (分譲面積:13.5ha)

中蜂屋工業団地 (分譲面積 17.3ha)



【蜂屋台工業団地・中蜂屋工業団地の分譲状況】

出典:美濃加茂市データ



【美濃加茂バイパス周辺の主だった企業の立地状況】

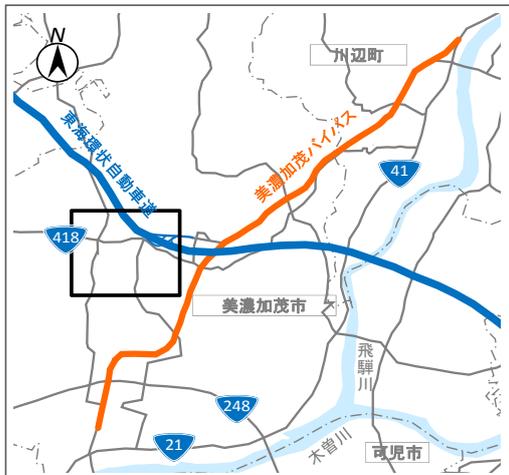
美濃加茂ICや国道41号バイパスなどが出来て、お客様の多い愛知県三河地区へのネットワークが充実していたため、蜂屋台工業団地を選択しました。

はちやだい (蜂屋台工業団地進出企業の声)

# 国道41号美濃加茂バイパス ～ 地域活性化の効果 ～

## ■企業が立地し雇用を創出!

・多くの企業が立地したため、製造品出荷額及び雇用者数が増加しています。

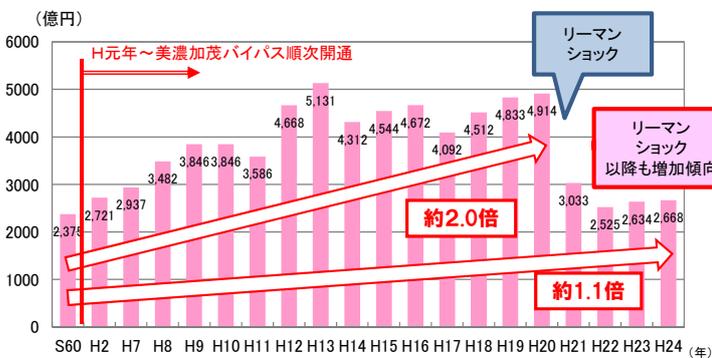


平成14年

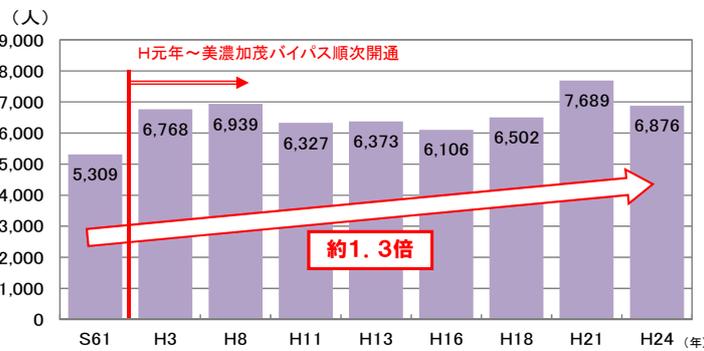
【10年後】  
蜂屋台工業団地  
企業が10社立地



平成24年



出典：美濃加茂市統計書



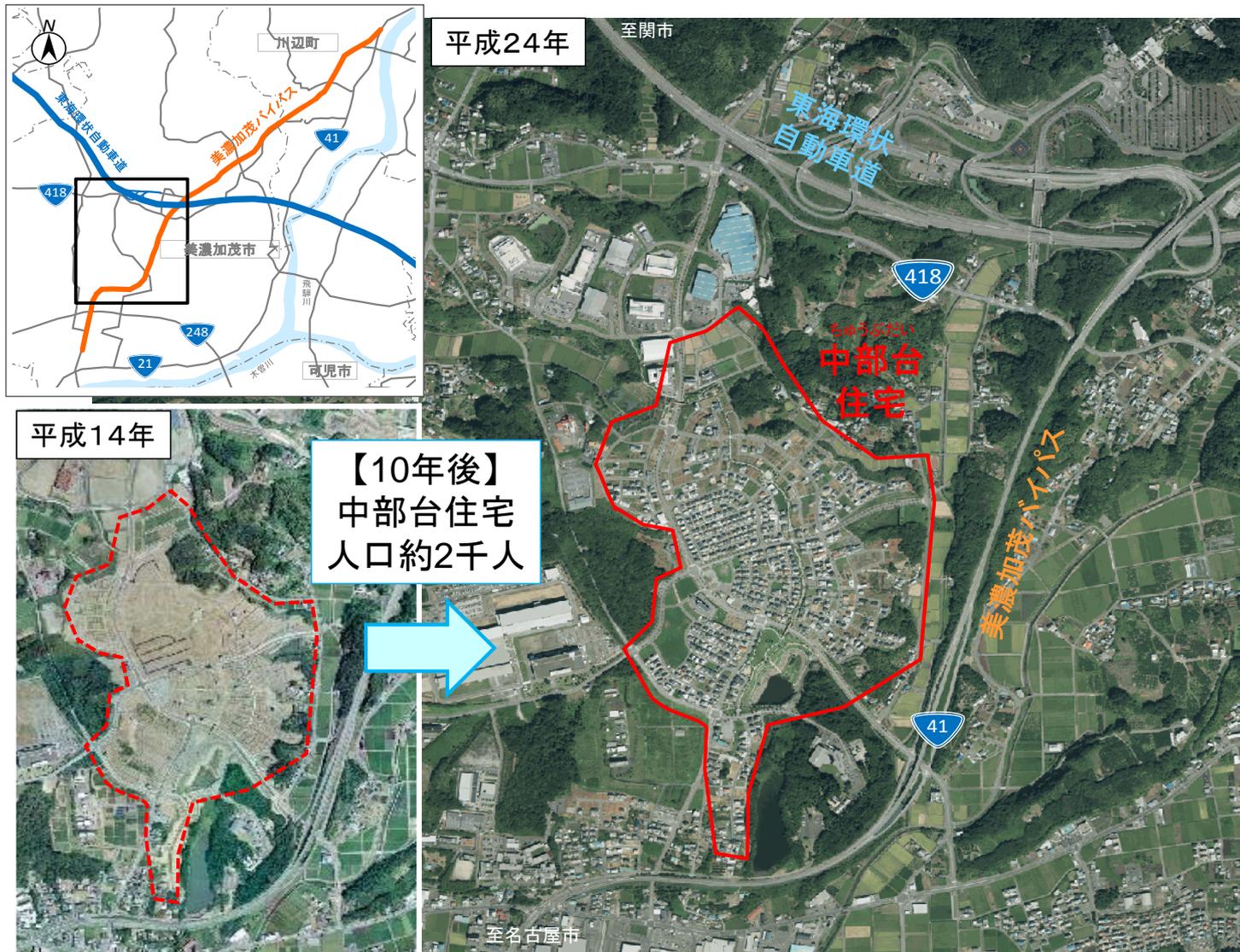
出典：美濃加茂市統計書

美濃加茂市は、雇用創出に期待できる製造業に重きをおいて誘致しています。短期間で工業団地が完売したのは、東海環状自動車道が整備されたことでもあります。美濃加茂バイパスを含めた道路計画があったため、それを狙ったのだと思います。

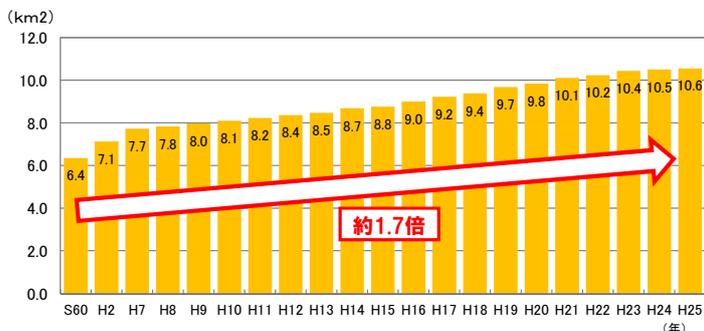
(美濃加茂市役所職員の声)

## ■ 住宅地が開発され人口も増加!

・多くの企業が立地され雇用者数が増加したため、宅地開発の増加、人口の増加といった更なる効果が発現しています。

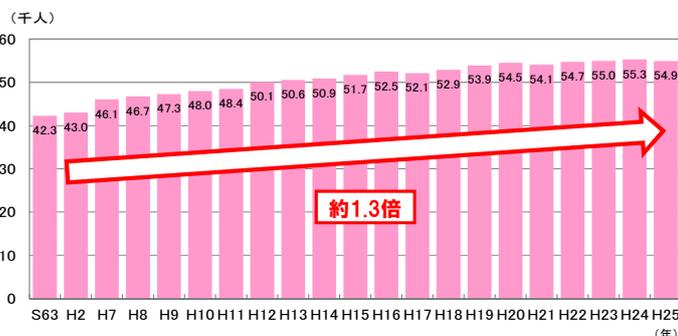


【美濃加茂バイパス周辺の住宅の開発状況】



【美濃加茂市の宅地面積の推移】

出典：美濃加茂市統計書



【美濃加茂市の人口推移】

出典：岐阜県人口動態統計調査結果

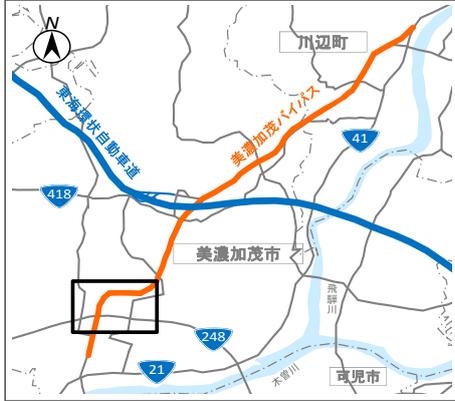
当社は住宅の取得率が7割から8割とかなり高い。若手の従業員もどんどん買っている。当然買うときには近場ということで、美濃加茂市周辺に家を購入した者もいると聞いている。

(美濃加茂市内企業の声)

# 国道41号美濃加茂バイパス ～ 地域活性化の効果 ～

## ■ 商業施設の開発により利便性が向上!

・住宅地の開発が進行し人口が増加してきたため、徐々に商業施設の開発が進んできており、更なる効果が発現しています。



**14年間で11店が出店**

平成14年

**【10年後】  
太田町周辺  
7店が出店**



### 【美濃加茂バイパス周辺の商業施設の開発状況】

□ は交差点名称

美濃加茂バイパスの山手町交差点の東側に商業施設が集まっていることもあり、加茂郡の方が買い物に来ています。それは美濃加茂バイパスが出来たことと大型の商業施設が立地したことがセットになって増えているのだと思います。また、さらにそれをみて他の事業者がどんどん集まってきました。(美濃加茂市役所職員の声)

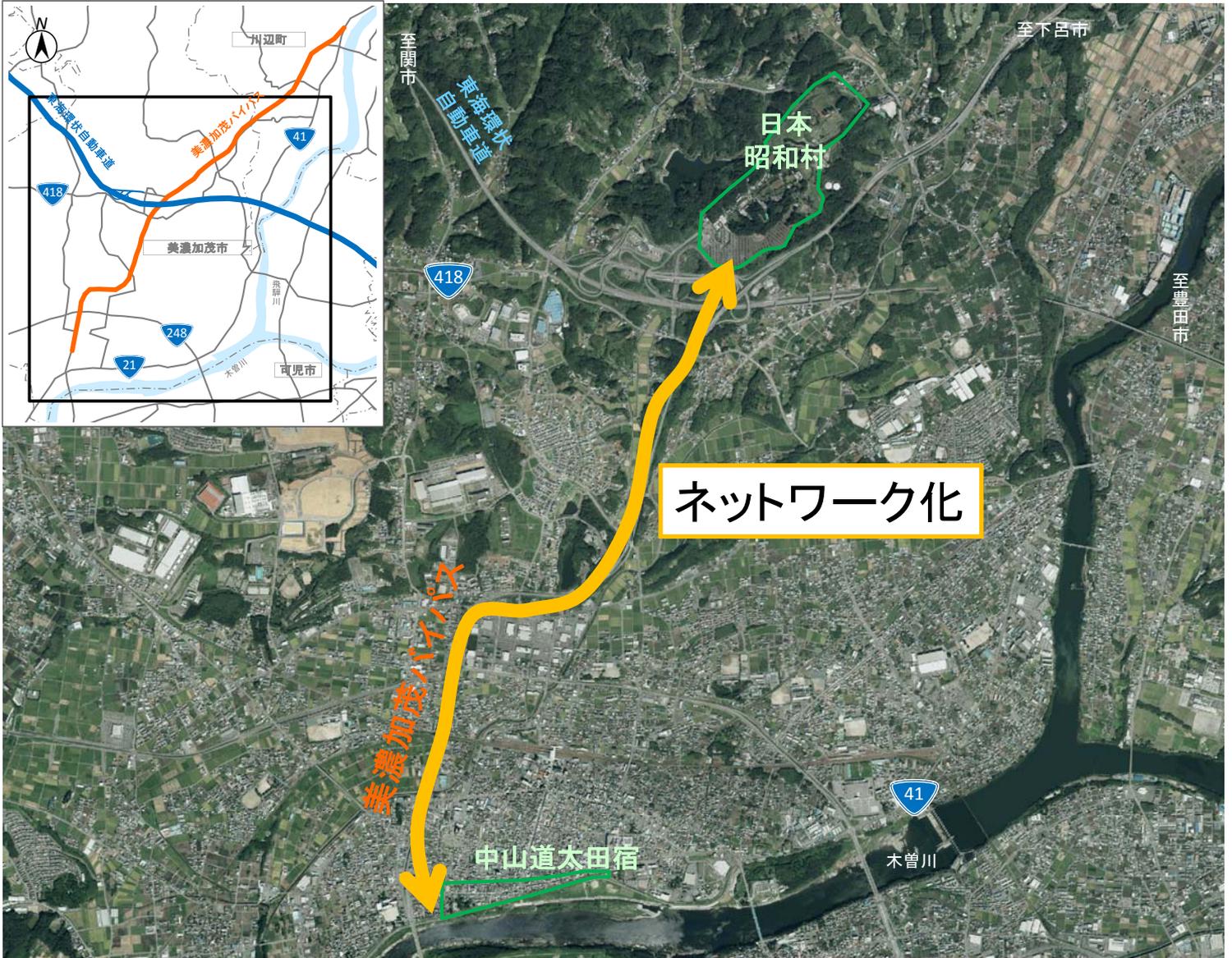
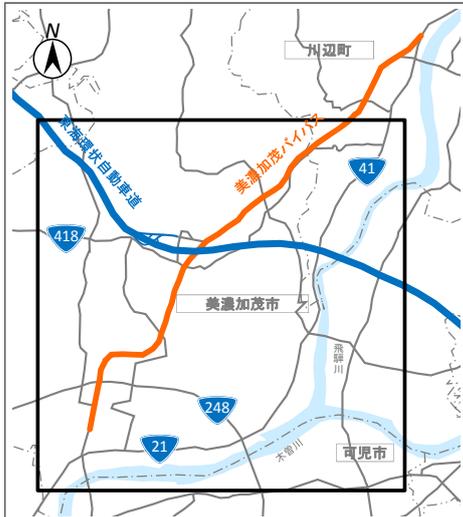
大規模な企業が進出しており、就業者人口が非常に多い地域だったので、そこを見込んでの出店だと思います。(美濃加茂市内商業施設の声)

# 国道41号美濃加茂バイパス ～ 地域活性化の効果 ～

## ■ 地域の観光施設へのアクセス性が向上!

にほんしょうわむら なかせんどうおおたじゆく

・日本昭和村や中山道太田宿等の新たな観光施設が立地されたため、美濃加茂バイパスは、これらの施設を結ぶ道路ネットワークとして効果を発揮しています。



ネットワーク化

### 【日本昭和村】

日本昭和村は、平成15年にオープンし、昭和30年代の里山の風景を再現した観光施設として、年間約42万人が訪れています。



なかせんどうおおたじゆく

### 【中山道太田宿 ／太田宿中山道会館】

中山道太田宿は平成15年、太田宿中山道会館は平成18年にオープンし、中山道の宿場町として観光施設年間約25万人が訪れています。



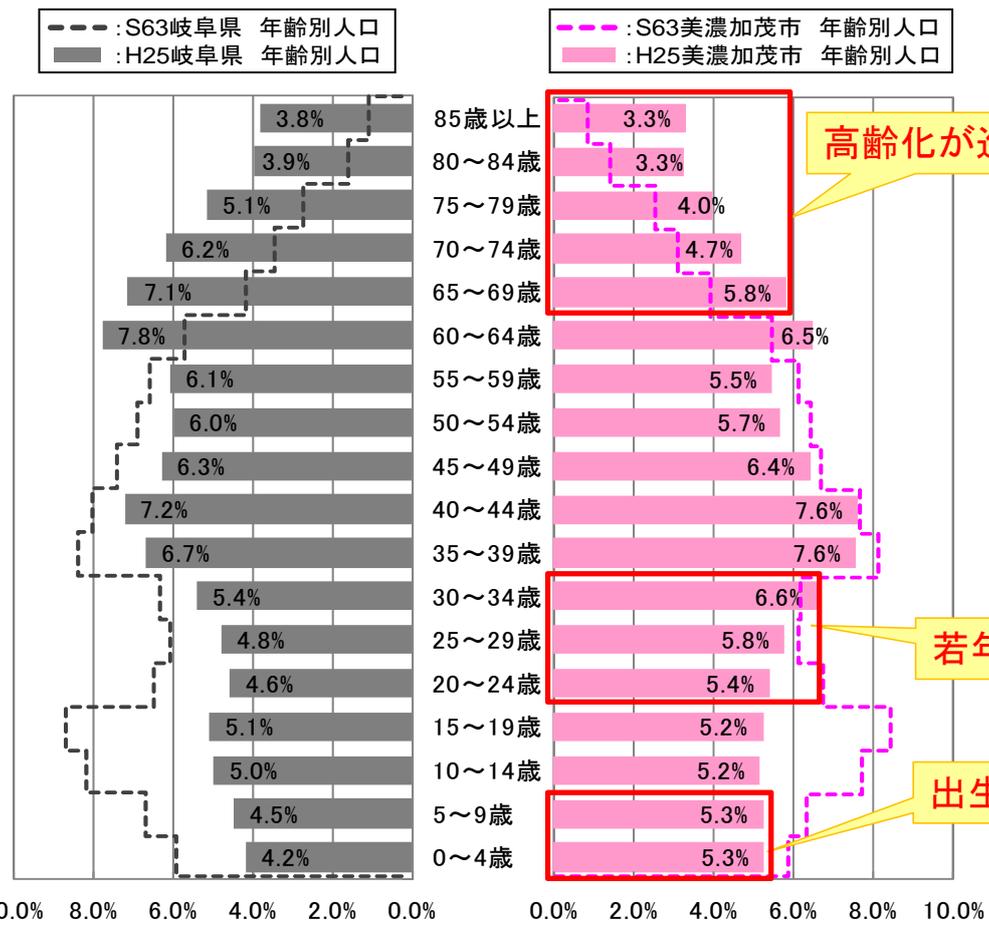
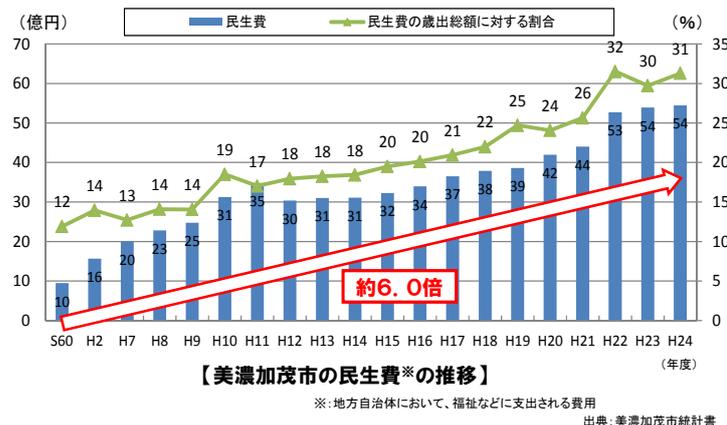
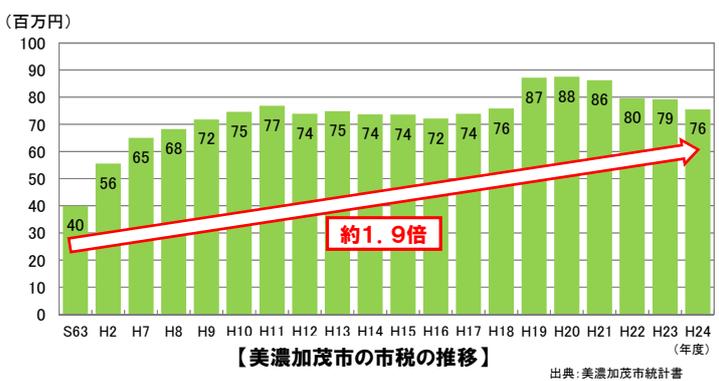
出典：岐阜県観光入込客統計調査

日本昭和村に行って、その後に中山道会館を観光するルートがあります。バイパスの整備はこの2施設間のアクセスに役立っています。  
(美濃加茂市役所職員の声)

日本昭和村の帰りのお客さんは多い。逆に中山道太田宿に来て、日本昭和村に行っている人も多。そういう意味ではネットワーク化されて役立っている。美濃加茂バイパスが繋がったことによって非常に効果は大きい。  
(太田宿中山道会館の声)

## ■子育てサービスが充実！若者に魅力的な町に！

- ・地域活性化の効果もあり、美濃加茂市の市税が増加し、子育て等への充実した行政サービスが可能となるため、美濃加茂市は岐阜県全体に比べ若年層が多く、出生率も高くなっています。
- ・美濃加茂市が若者に魅力的な町づくりに取り組んできた成果で、美濃加茂バイパスにより地域生活に変化が生まれたとの声も聞いています。



ファミリーサポート事業について、美濃加茂市内の子育てを手伝って欲しい人と、周辺自治体の子育てを手伝いたい人をつなぐ上で美濃加茂バイパスにより、利便性が向上したため、地域を超えたサービスがみこめるようになりました。

(美濃加茂市役所職員の声)



## ■ 地域間交流に変化を確認！ 交流が活性化！

- ・美濃加茂市は、周辺の町村と「みのかも定住自立圏」に関する協定を締結しました。
- ・道の駅「ロックガーデンひちそう」では、朝どり野菜を求めて買い物客が来るなど、観光客が増加しています。

### ■ みのかも定住自立圏とは

「中心市」の都市機能と「周辺町村」の農林水産業、自然環境、歴史、文化など、それぞれの魅力を活用して、相互に役割分担し、連携・協力することにより、地方圏への人口定住を促進する政策



美濃加茂市と各町村との協定	協定日
坂祝町	平成21年10月26日
川辺町	平成22年9月30日
富加町、七宗町	平成23年3月28日
白川町	平成23年9月29日
八百津町、東白川村	平成23年12月22日

出典：H25年（第5回変更）みのかも定住自立圏共生ビジョン

国道41号は、みのかも圏域と名古屋都市圏をつなぎ、さらに圏域内の各地域を結んでおり、圏域の活性化を図る上で重要なルートです。  
(美濃加茂市役所職員の声)

### 道の駅の交流

#### 【道の駅 ロックガーデンひちそう】

平成9年にオープンした道の駅の施設。物販スペースやドライバーの休憩スポット「道の駅・ロックガーデンひちそう」がある。毎日新鮮な地元野菜が並ぶ「野菜ひろば」もとても好評を得ています。



H26.9撮影



H26.9撮影



【ロックガーデンひちそう(ロックタウンプラザ)の観光入込客数】

出典：岐阜県観光入込客統計調査

道の駅利用者から、美濃加茂ICから美濃加茂バイパスを利用してきたなどの話は多く聞くようになりました。

野菜ひろばの買い物客は美濃加茂市以南からの方が多いと思われます。野菜の値段が安いので、飲食店を営んでいる方も買いに来ています。  
(道の駅管理者(七宗町役場職員)の声)

- ・平成24、25年度には、「みのかも定住自立圏」内の市町村が協働し、「地域まるごと博物館スタンプラリー」を開催し、地域間の交流が生まれました。

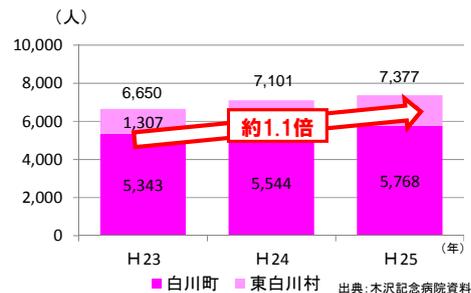
- ・美濃加茂市にある木沢記念病院では、遠方の白川町や東白川村からの外来患者が増加しています。

### イベントの交流

### 地域医療への寄与



H26.9撮影



出典：木沢記念病院資料

東白川村のデータを見ると年々、外来患者数が増加しています。昔は美濃加茂市まで出てくるのが困難であったためか、遠いところからの患者数が増えています。  
(木沢記念病院の声)

### スタンプラリーの参加人数



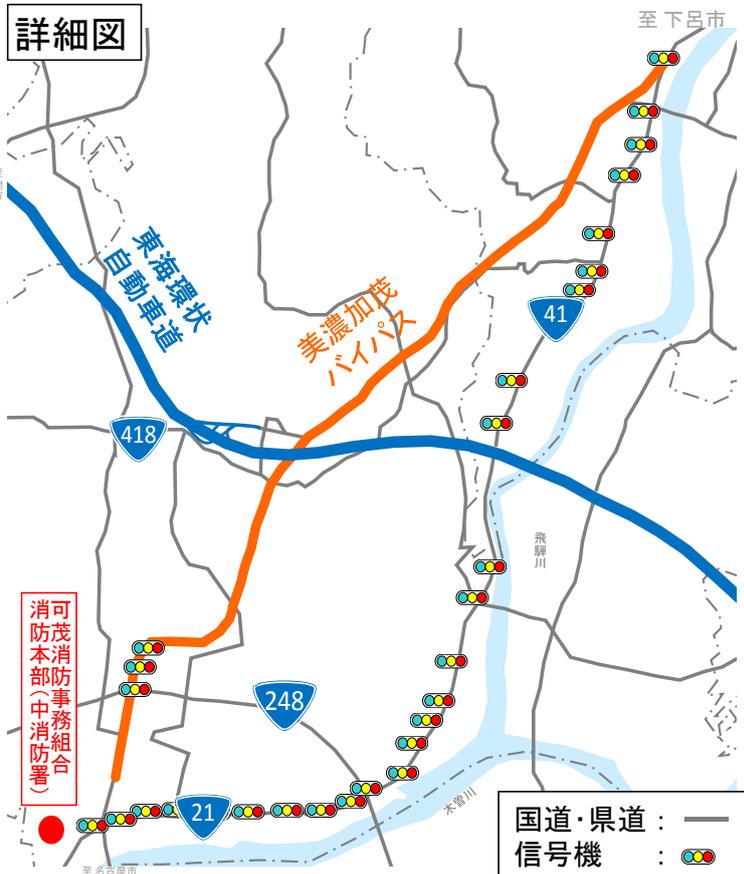
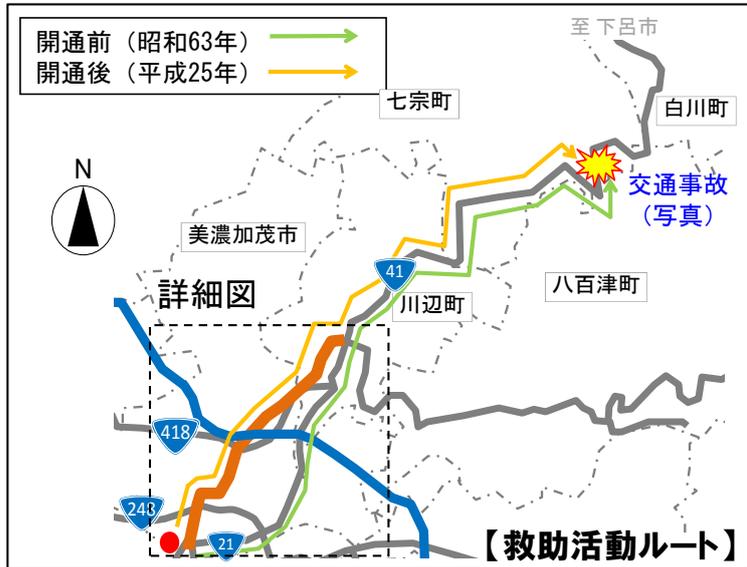
出典：美濃加茂市資料

今までは川辺町を挟んで美濃加茂市という感じでしたが、今は美濃加茂バイパスに乗ればすぐ美濃加茂市なので、意識的な問題であるが、そういう効果はありました。  
(七宗町役場職員の声)

# 国道41号美濃加茂バイパス ～ 安全・安心の確保 ～

## ■美濃加茂バイパスが地域の救急活動を支援！

・美濃加茂バイパスの整備により、国道41号で交通事故が発生した場合、現場までの所要時間が短縮され、可茂消防事務組合消防本部からの救助隊の出動がスムーズになりました。

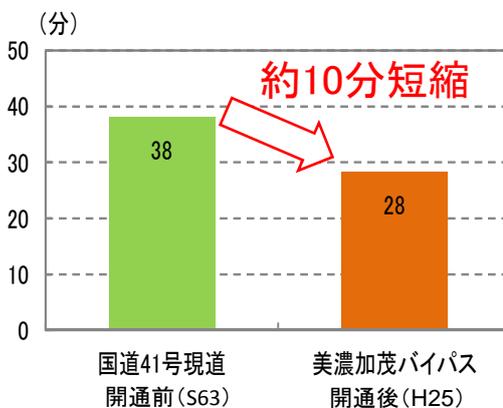


【信号設置状況】

信号機数



所要時間(事故発生箇所)



国道41号線の現道は市街地を走行することで、信号がたくさんあり交通の渋滞があるため、バイパスを走行します。

七宗町・白川町・東白川村の国道上で大きな交通事故があった場合、中消防署には特別救助隊があるため、必ず美濃加茂バイパスを利用します。その際、現場到着時間が短縮されています。

かも  
(可茂消防事務組合消防本部の声)



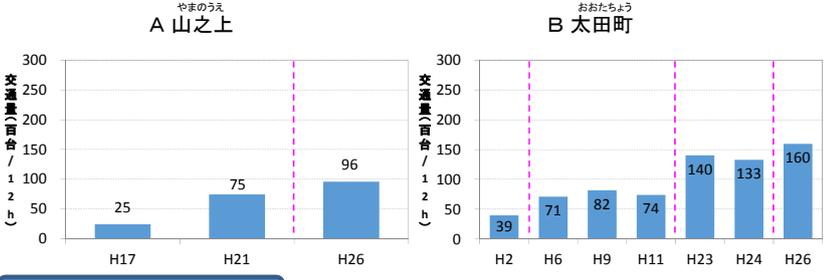
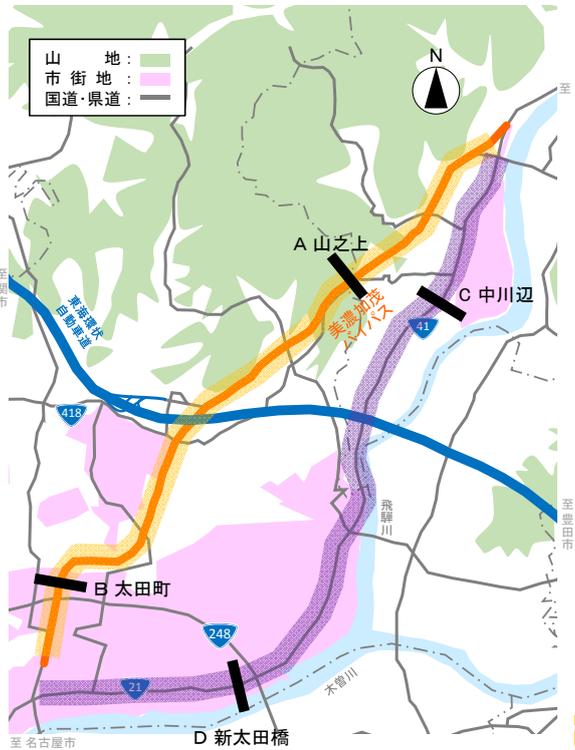
# 国道41号美濃加茂バイパス ～ 道路状況の変化 ～

## 国道41号現道の交通がバイパスに転換！

・美濃加茂バイパスの全線開通により、国道41号現道の交通が美濃加茂バイパスに転換し、現道交通量が減少しました。

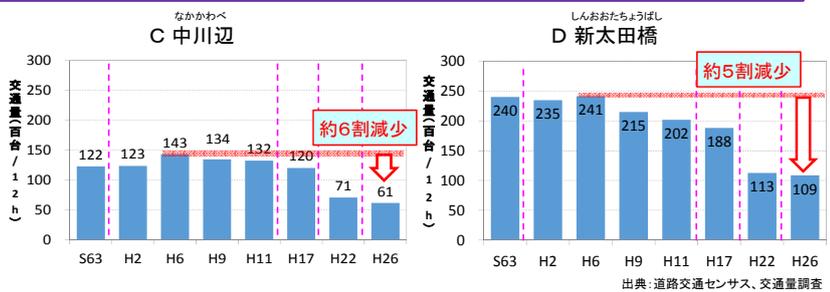
美濃加茂バイパスの交通量の推移

・美濃加茂バイパスの段階整備に伴い、美濃加茂バイパスの交通量が段階的に増加



国道41号現道の交通量の推移

・国道41号現道の交通量がピーク時に比べ約5～6割減少

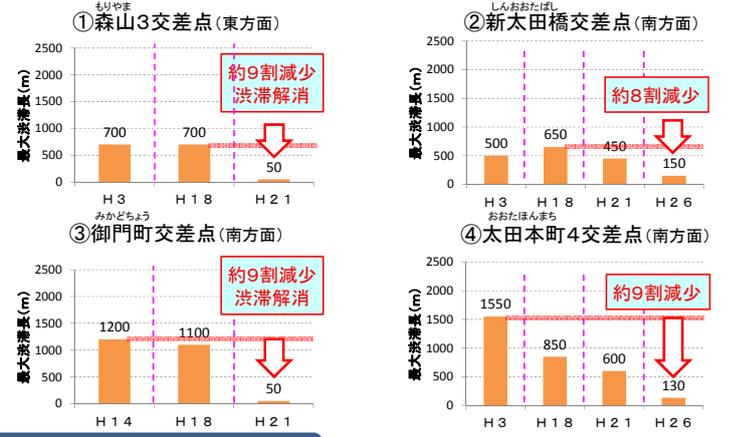
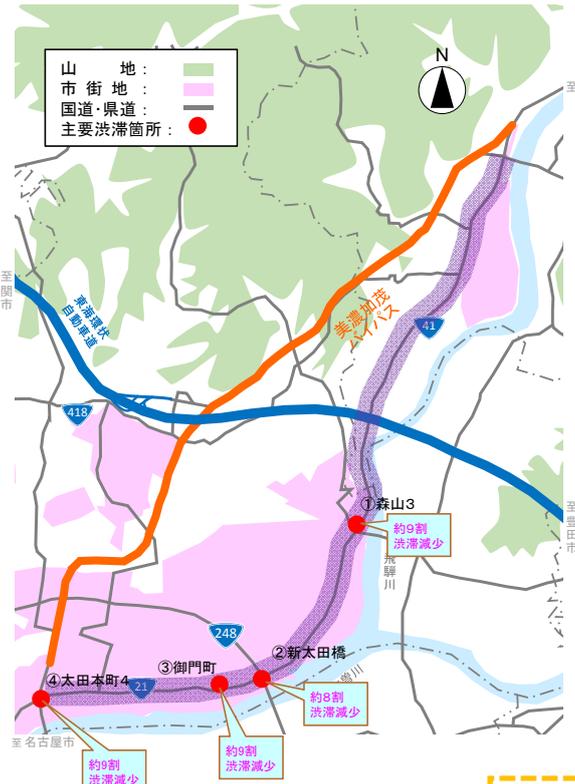


国道41号は地元の人々の生活道路でもあったので名古屋方面～高山方面の通過する車はバイパスを通るようになって交通量が減りました。  
(地域住民の声)

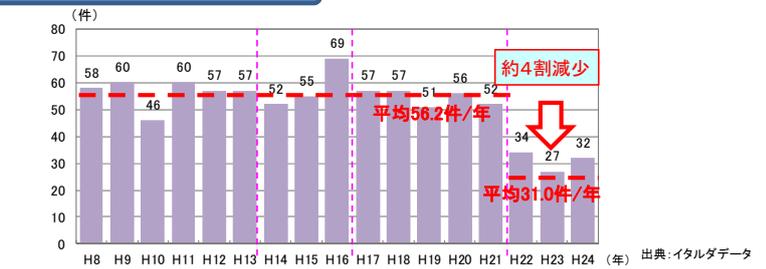
## 国道41号現道の渋滞が緩和！交通事故が減少！

・現道交通量の減少により、地域の主要渋滞箇所が解消するなど渋滞が大きく緩和し、交通事故件数も減少しました。

国道41号現道の渋滞状況の推移



国道41号現道の交通事故件数の推移



美濃加茂市を通り過ぎる車がバイパスを利用するため、市内の他の道路が安全になりました。  
(地域住民の声)

# 国道41号美濃加茂バイパス ～ 道路状況の変化 ～

## ■ 太田町交差点の渋滞が大きく減少！

美濃加茂バイパス太田町交差点では、バイパスの交通量増加に伴い渋滞が発生し、地域の主要渋滞箇所指定されていますが、太田町交差点周辺部の車線拡幅により、特に通勤時間帯の交通混雑が大きく減少しました。

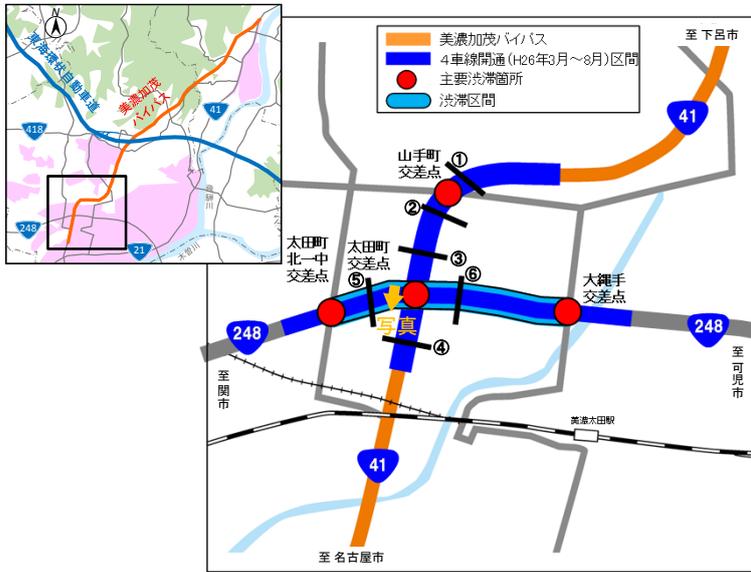
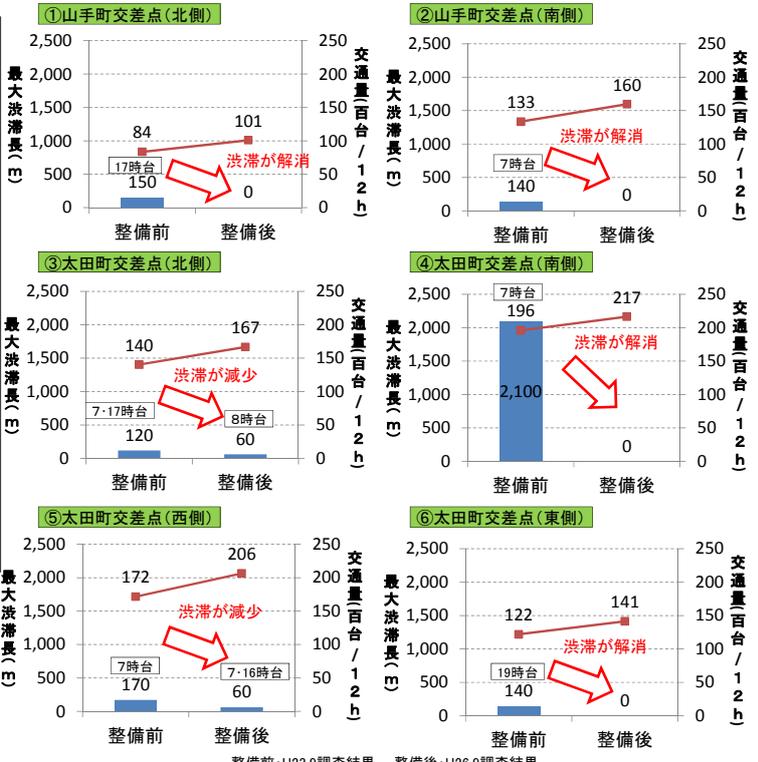


写真 太田町交差点の渋滞状況  
H23.9撮影(車線拡幅前)



写真 太田町交差点の渋滞状況  
H26.9撮影(車線拡幅後)

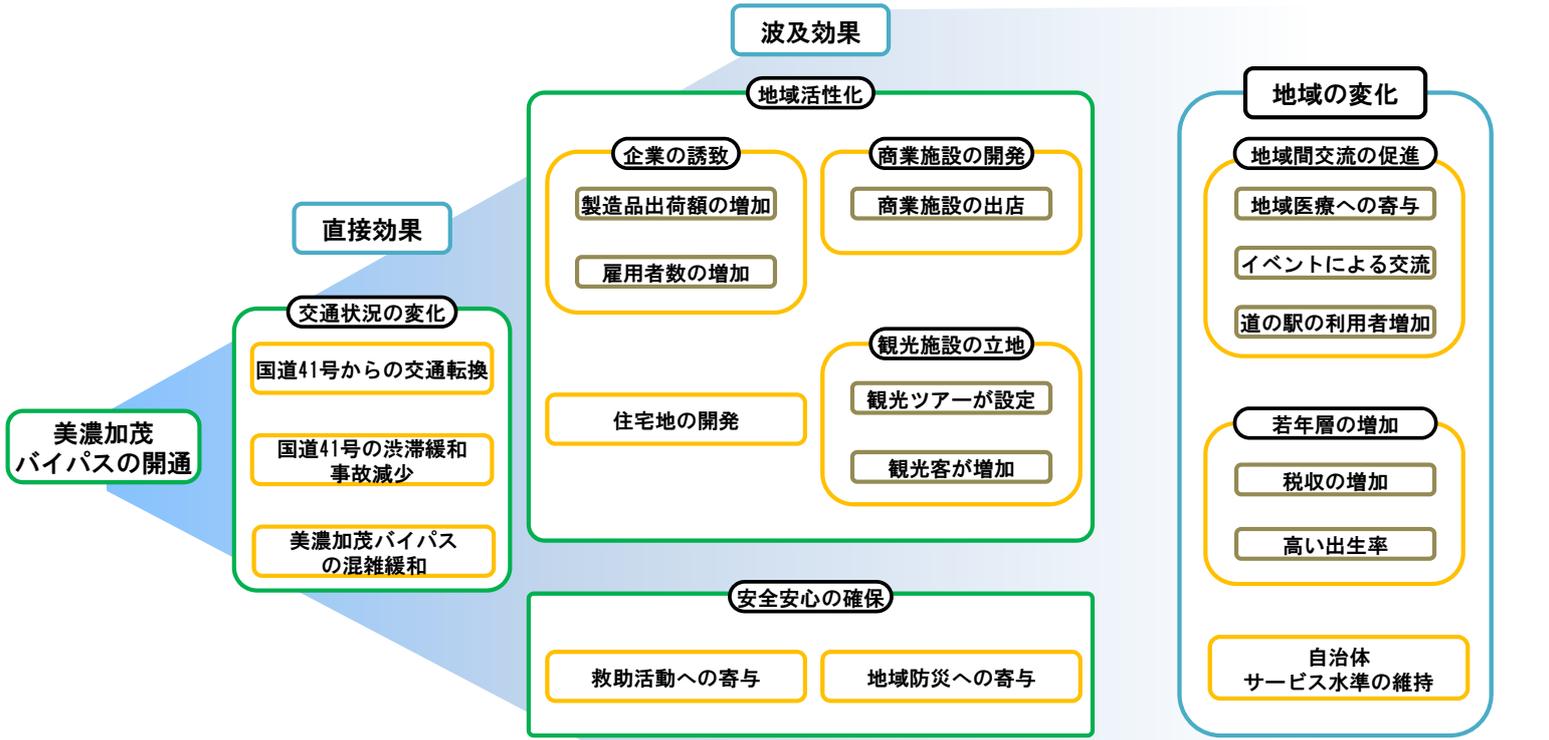


朝の渋滞が解消されました。  
(地域住民の声)

■ 最大渋滞長  
■ 交通量  
□ 時台 : 最大渋滞長発生時間帯

## (参考) 道路の効果 模式図

美濃加茂バイパスの整備により、幅広い波及効果が発現しており、地域の取り組みと相まって地域が活性化。



魅力的なまちづくり